

## 平成 27 年度 大阪市立堀江中学校

### 東生野中学校夜間学級学校訪問を終えて

12 月 15 日に堀江中学校から代表者 8 名が東生野中学校夜間学級へ学校訪問に行きました。代表者メンバーは次の通りです。

1 年生：岩崎さん、小田原さん、入部さん

2 年生：岸本さん、高田さん、中村さん、中嶋さん、兼光さん

～ 事前学習 ～

なぜ夜間学級ができたのか、どんな人が通っているのかなどを学校訪問前に学びました。次の表は東生野中学校夜間学級に関することを Q & A 形式にまとめたものです。

Q 1：生徒さんの年代で最も多いのは？	A：70 代の年配の方。
Q 2：生徒さんの国籍は？	A：大阪府在住なら、どの国籍でも通える。最も多いのは韓国朝鮮（8 割以上）、次に日本（1 割）、中国、その他、と続く。
Q 3：生徒さんは女性、男性のどちらが多い？	A：女性の数が男性の 10 倍近くで、圧倒的に女性が多い。
Q 4：昼間の中学校と共通する点は？	A：同じ 9 教科を学ぶ。学校行事も同じで、運動会や文化祭、部活動もある。
Q 5：昼間の中学校と異なる点は？	A：授業時間は 40 分×4 時間。学年ではなく、初級、中級、発展と 3 つのクラスに分かれる。3 年以上在籍することも可能。

70 代の方が多いのは、戦争があったためです。戦後は生きる事で精一杯だったため学校へ通うことができませんでした。国籍はさまざまですが、最も多いのは韓国朝鮮人の方です。戦後ということに加えて、いわれのない差別もあり、十分な教育を受けられませんでした。女性の数が多いのは、女性に対する差別のため学校へ通えなかったからです。子育てが終わり、やっと勉強ができる環境になったので、今、夜間学級で学んでいます。

また、大阪府は、全国で最も夜間学級の数が多いことがわかりました。夜間学級があるのは千葉、東京、神奈川、京都、大阪、兵庫、奈良、広島のたった 8 都道府県です。大阪にある夜間学級のある中学校数は全国の約 35%、生徒数は約 55% です。全国の夜間学級のデータでは、入学理由で最も多いのは「読み書きの習得」、次に「日本語会話の習得」、「中学校教育の終了」などです。

夜間学級で学ぶことで、生徒さんたちの生活や気持ちはどう変わるのか？この問いについて、代表者が考えたのは次のようなことです。

- ①わからなかったことがわかると楽しい、うれしい。
- ②読み書きができて、生活が便利になる。
- ③卒業後、高校に進学できる。
- ④いろんな人と交流ができる。社会的につながりを持つことができる。
- ⑤自分に自信が持てる。

～ 学校訪問当日の動き ～

1. 職員室であいさつ      2. 教頭先生、校長先生のお話
3. 授業見学

メンバー	1 時間目	2 時間目
1 年小田原、入部、岩崎	理科（アカウミガメの産卵について）	美術（スクラッチ画に自分でタイトルを考える、色塗り）
2 年中村、兼光、岸本	美術（スクラッチ画）	数学（連立方程式加減法）
2 年中嶋、高田	英語（日付、曜日、天気、単語練習、like の練習プリント）	数学（正の数、負の数の計算）

4. 交流：食事をとりながら、生徒さんたちと交流

美術の授業



理科の授業



交流の時間



～ 代表者の感想 ～

◇ 私は夜間学級に行って、本当に良かったと思っています。生徒の皆さんは、とても熱心に授業を受けていて、授業中寝ている人はいませんでした。その様子を見て、見習わないといけないと思いました。また私がどんなに恵まれているかを、改めて痛感しました。授業風景を見ていても、積極的に発言をする姿に、私は罪悪感を感じました。なぜなら、私は、授業中発表は自ラせず、ただノートをとるだけで、勉強ができる環境があるのにダメだなんて思いました。そして皆さん一生懸命で、1つの事に全力で取り組んでいて、尊敬します！また、人柄が良くてフレンドリーな方たくさん！だからすごく居心地が良かったです。夜間学級は私たちにもよりよい刺激になると思うので、できるだけたくさんの人が参加してほしいと思いました。

◇ 夜間学級学校訪問へ行ったとき、初めは、とても緊張していた。それで、1時間目は理科で、「砂浜にあがったアカウミガメ」というのを学習していた。生徒さんのとなりの席に座ったとき、となりの生徒さんといっぱい話した。初めの緊張がほぐれて、少し楽になって、話しやすくなった。教材をみんなで読むとき、日本語を指でなぞりながら、ゆっくりとはっきり読んでいた。美術の時間ではみんなと一緒に色塗りをした。みんな、熱心に集中して色を塗っていた。あと、卓球の事を「たっくう」と韓国語では言うらしいです。

◇ 私は夜間学級に行って思ったことが三つあります。一つ目は、みんなとても明るかったことです。みなさんたくさん話をしてくださいました。そしてご飯のときは、パンやあめなどをもらいました。とてもうれしかったです。二つ目は、字がとてもきれいだなと思いました。ゆっくり、でもていねいに書いていて漢字もたくさん使ってすごいなと思いました。三つ目は勉強している姿です。静かにしていますが、発言するときは、とてもはきはきと意見を言っていました。勉強する時間を戦争にうばわれてしまって、本当は日本のことを憎んでいると思うけど、その気持ちを消して、今頑張って勉強して、とりかえそうとしている姿にすごく格好いいなと思いました。私はこの経験を生かし、もっと勉強したいなと思いました。

◇ すごく勉強の大切さを知った。学校に通っている生徒さんたちは、みんな口をそろえて「学校が好き」「若いころに勉強をした方がいい」と言っていて、自分自身の勉強に対する見方も考えさせられた気がしました。すごくいい経験だったです。

◇ ぼくは 1 時間目の美術の時間は楽だな～と思っていましたが、2 時間目の数学は久しぶりに連立方程式をしていて、意外とむずかしいな～と思いました。自分がちゃんと勉強していないのが、ちょっと恥ずかしくなりました。

◇ 夜間学級に来ている生徒さんは、ほとんどが60～70歳ぐらいの女性が多く、若い時に勉強できなくて来られているそうです。僕は学校に行かないといけないうので行っていますが、夜間学級の生徒さんは勉強を頑張りたいという熱意があって、すごいと思いました。熱心に授業を受けているのがとても印象的でした。勉強の大切さを改めて実感しました。

◇ 生徒さんたちはとても「勉強」に対して前向きでした。私たちの学年では授業中に寝ていたり、だらけていたりする生徒が数人いますが、夜間学級の生徒さんたちは全くそのような様子がなく、ひたすら書いて、書いて一生懸命勉強していました。今回の授業を通して勉強だけでなく、勉強の楽しさ、素晴らしさを改めて知ることができました。そして、生徒さんたちに「勉強できることは幸せなんだよ。」と伝えてほしいと言われたので、発表の際に絶対に言おうと思いました。

◇ 本当の中学生のようでした。私は授業がイヤな時もあるし、「こんなことしなくていいのに。」そんな事をたまに思うときがあります。ですが、夜間学級に通っている生徒さん達は、授業を受けているときも笑顔で、問題を解くのにハキハキしていて、勉強している姿が輝いていました。この歌（「ふるさと」）を誰かが歌っていて、自分も歌いたかった。だけど、夜間に来て歌えた。そんな事や、色んな事に心がふるえました。

私が学んだことは、「勉強を今できる大切さ」です。私が教室を出る前、一人の生徒さんに、こんなことを言われました。「勉強は一生のものです。あなたは若いのだから、いっぱい勉強して、いっぱい学びなさい。」そんな言葉をもらいました。その言葉で、本当にやる気が出ました。だから、これから勉強をたくさんして、学んで、夢を叶えたいと、改めて思いました。